



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月4日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション 上場取引所 東
 コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート (氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330
 本部長
 四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	2,445	△17.8	△195	—	△203	—	△136	—
2023年3月期第1四半期	2,973	△10.5	△188	—	△188	—	△139	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 380百万円(—%) 2023年3月期第1四半期 △162百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△33.97	—
2023年3月期第1四半期	△34.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	26,004	12,160	46.8
2023年3月期	25,808	11,900	46.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 12,160百万円 2023年3月期 11,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,500	△20.8	△180	—	△130	—	△90	—	△22.39
通期	12,000	△6.8	70	378.3	150	9.7	120	84.5	29.86

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	4,069,747株	2023年3月期	4,069,747株
2024年3月期1Q	50,521株	2023年3月期	50,505株
2024年3月期1Q	4,019,238株	2023年3月期1Q	4,000,532株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が、5類感染症へと移行されたことにより、消費活動は回復基調となりました。

一方、日米での金融政策の違いに伴う円安進行、海外経済の減速懸念、長期化するウクライナ情勢を背景とした資源・資材価格の高騰やエネルギー価格の高止まりが続き、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況の中にあつて当社グループは、和装事業におきましては、引き続き不採算催事からの撤退を進めたことにより売上減となりました。洋装事業におきましては、新規案件が増加したことにより売上増となりました。ホームファニシング事業におきましては、前連結会計年度における春夏物の一括納品などの特需がなくなったこともあり大幅な売上減となりました。健康・生活事業におきましては、テレビ等の通信販売の不振が影響し売上減となりました。

厳しい経営環境下ではありますが、当社グループにおきましては、2022-2024年度を計画期間とする中期経営計画に基づき、引き続きコア事業の強靱化と新規事業開発の促進を行うとともに、消費者へのダイレクト提案やコスト削減による効率経営の実践と経営資源の有効活用による生産性の向上に注力し、全営業部門黒字化の実現を目指してまいります。培った商人魂とフロンティア精神のもと、モノを製造するだけでなく、そこから生まれるサービスをどう広げられるかを追求し、伝統の継承とともに改革を実行することで、企業価値の向上に努めてまいります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高は2,445百万円（前年同期比17.8%減）、営業損失は195百万円（前年同期は営業損失188百万円）、経常損失は203百万円（前年同期は経常損失188百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は136百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失139百万円）となりました。

セグメントの状況は以下のとおりです。

<和装事業>

ツカモト市田株式会社における和装事業につきましては、不採算催事からの撤退を進めたことにより売上が減少しましたが、利益率の向上と経費の削減もあり損益は改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は192百万円（前年同期比32.9%減）、セグメント損失（営業損失）は65百万円（前年同期はセグメント損失74百万円）となりました。

<洋装事業>

メンズ事業、レディス・OEM事業につきましては、受注額が減少して減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の新規案件が増加したこと、為替変動への対応が進んだこと等により、前連結会計年度に急激に低下した利益率が回復し損益は改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,142百万円（前年同期比25.6%増）、セグメント損失（営業損失）は49百万円（前年同期はセグメント損失124百万円）となりました。

<ホームファニシング事業>

ホームファニシング事業につきましては、前連結会計年度における春夏物の一括納品などの特需がなくなったこともあり大幅な売上減となりましたが、黒字基調は続いております。

以上の結果、当事業分野の売上高は234百万円（前年同期比73.6%減）、セグメント利益（営業利益）は26百万円（前年同期比70.8%減）となりました。

<健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、家電量販店やWebでの販売は好調に推移しましたが、テレビ等の通信販売の不振による影響が大きく減収となり、損失が拡大しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は617百万円（前年同期比8.5%減）、セグメント損失（営業

損失)は152百万円(前年同期はセグメント損失129百万円)となりました。

<建物の賃貸業>

建物の賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化もなく、前連結会計年度並みに推移しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は258百万円(前年同期比6.9%増)、セグメント利益(営業利益)は141百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の資産の部は、受取手形及び売掛金が616百万円減少したこと、及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価により773百万円増加したこと等により、資産合計は前連結会計年度末に比べ196百万円増加し26,004百万円となりました。

負債の部は、流動負債における支払手形及び買掛金が305百万円減少し、固定負債における繰延税金負債が投資有価証券の影響によって236百万円増加したこと等から、負債合計は前連結会計年度末に比べ63百万円減少の13,843百万円となりました。

純資産の部は、株主資本における利益剰余金が257百万円減少し、その他の包括利益累計額のその他有価証券評価差額金が536百万円増加したことにより、純資産合計は前連結会計年度末に比べ259百万円増加の12,160百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2023年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、第2四半期連結累計期間及び通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,169,450	2,118,946
受取手形及び売掛金	1,968,590	1,352,352
電子記録債権	101,082	177,066
棚卸資産	1,789,011	1,898,766
その他	712,551	624,751
貸倒引当金	△220	△20
流動資産合計	6,740,465	6,171,863
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,086,864	2,062,274
土地	10,562,576	10,562,576
その他(純額)	108,416	107,621
有形固定資産合計	12,757,857	12,732,473
無形固定資産		
その他	64,427	67,174
無形固定資産合計	64,427	67,174
投資その他の資産		
投資有価証券	4,721,142	5,494,590
出資金	800,115	800,115
退職給付に係る資産	642,574	649,782
その他	217,071	223,303
貸倒引当金	△135,501	△135,091
投資その他の資産合計	6,245,402	7,032,699
固定資産合計	19,067,687	19,832,347
資産合計	25,808,153	26,004,211
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,040,991	735,874
電子記録債務	1,114,186	1,037,112
短期借入金	5,051,284	4,799,692
1年内返済予定の長期借入金	1,430,000	1,430,000
未払法人税等	32,138	15,800
未払消費税等	10,665	1,576
契約負債	16,508	22,738
その他	446,714	403,042
流動負債合計	9,142,490	8,445,835
固定負債		
長期借入金	1,550,000	1,950,000
繰延税金負債	2,263,159	2,499,183
再評価に係る繰延税金負債	12,660	12,660
退職給付に係る負債	211,575	209,254
資産除去債務	3,032	3,032
その他	724,523	723,822
固定負債合計	4,764,952	5,397,955
負債合計	13,907,442	13,843,791

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	710,644	710,644
利益剰余金	6,809,814	6,552,719
自己株式	△60,710	△60,731
株主資本合計	10,289,593	10,032,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,504,803	2,041,158
繰延ヘッジ損益	5,281	△8,702
土地再評価差額金	9,152	9,152
退職給付に係る調整累計額	91,879	86,334
その他の包括利益累計額合計	1,611,117	2,127,943
純資産合計	11,900,710	12,160,420
負債純資産合計	25,808,153	26,004,211

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	2,973,933	2,445,153
売上原価	2,313,201	1,807,775
売上総利益	660,731	637,378
販売費及び一般管理費	848,762	832,897
営業損失(△)	△188,031	△195,519
営業外収益		
受取利息	887	920
受取配当金	9,069	9,568
投資有価証券売却益	4,250	—
保険配当金	6,026	5,582
その他	26,863	3,808
営業外収益合計	47,097	19,879
営業外費用		
支払利息	24,712	22,471
手形売却損	286	434
為替差損	20,963	3,424
その他	1,365	1,751
営業外費用合計	47,327	28,081
経常損失(△)	△188,261	△203,721
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,261	△203,721
法人税、住民税及び事業税	△48,550	△67,203
法人税等調整額	—	—
法人税等合計	△48,550	△67,203
四半期純損失(△)	△139,710	△136,517
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△139,710	△136,517
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,849	536,354
繰延ヘッジ損益	△38,773	△13,983
退職給付に係る調整額	△3,900	△5,545
その他の包括利益合計	△22,824	516,826
四半期包括利益	△162,535	380,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△162,535	380,308
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(譲渡制限付株式報酬制度による自己株式の処分)

当社は譲渡制限付株式報酬制度を導入しており、2023年6月27日開催の当社取締役会において決議した譲渡制限付株式報酬の割当として、2023年7月25日に自己株式17,050株(総額23,034千円)の処分を実施しております。

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴う会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症が、5類感染症へと移行されたことにより、経済正常化への期待が高まっておりますが、いまだ完全なる収束には至っておりません。当社グループは、その影響を少なくとも2024年3月期の一定期間にわたり見極めていく必要があると考え、会計上の見積もり(主に固定資産の減損会計等)を会計処理に反映し四半期連結財務諸表を作成しております。

なお、上記における仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や経済の影響によっては、会計上の見積もりや、今後における当社グループの財政状態、経営成績等に重要な影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事 業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	283,413	893,104	889,283	674,311	222,118	2,962,232	11,700	2,973,933
セグメント間の 内部売上高又は振替高	2,885	15,900	—	573	19,952	39,310	—	39,310
計	286,299	909,004	889,283	674,885	242,070	3,001,543	11,700	3,013,244
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△74,418	△124,405	91,483	△129,198	135,804	△100,735	△21,528	△122,263

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第1四半期連結会計期間において、「ホームファニシング事業」の店舗に係る固定資産及び在庫を譲渡したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「ホームファニシング事業」のセグメント資産が622,902千円減少しております。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△100,735
「その他」の区分の損失(△)	△21,528
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△65,767
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△188,031

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホームファニ シング事業	健康・生活 事 業	建 物 の 賃 貸 業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	191,810	1,141,979	220,447	616,781	238,279	2,409,299	35,854	2,445,153
セグメント間の 内部売上高又は振替高	262	103	14,000	853	20,400	35,619	29	35,648
計	192,072	1,142,083	234,447	617,635	258,680	2,444,918	35,883	2,480,802
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△65,165	△49,607	26,708	△152,822	141,546	△99,340	△24,719	△124,059

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△99,340
「その他」の区分の損失(△)	△24,719
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△71,459
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△195,519

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。